決算特別委員会（10月1日～10月20日）の主な質疑

市政改革ネットワーク

猶予特例債を市債残高から除いて説明した理由

問　猶予特例債を市債残高から除いて説明した理由は。

答　猶予特例債は、発行年度末には一時的に残高が発生するが、翌年度末には生じなくなるため、猶予特例債を除いた残高についても説明した。

本庁舎の女子トイレを増やせ

問　女性職員数が増えている中、女性用トイレは今後どのようにするのか。

答　本庁舎の衛生設備の更新を計画的に進めていく中で、女性用の便器の数を増やすべく、検討しているところである。

支援の効き目はどうだったのか

問　事業者への支援策を講じる場合、効果検証が可能な制度設計にすべき。

答　実績報告書において、数値での確認や項目等の工夫などにより、効果をより具体的に把握できるようにしていきたい。

介護保険に係る財政状況は

問　保険料を上げず介護給付費準備基金の取り崩しで不測の事態に対応できるのか。

答　計画策定時に必要な介護保険料等を適切に見込んでおり、不測の事態が生じた場合には県市の基金を活用する。

長期間休校の影響は

問　令和2年度の感染対策の事実と効果を検証し、今後に生かすことが必要だがどうか。

答　一斉臨時休業は児童生徒等に大きな影響を与えるため、感染症対策を徹底した上で、可能な限り学校教育活動を継続する。

憩いの空間ファミリープール

問　市民の憩いの場であるファミリープールは今後どう検討を進めていくのか。

答　中央公園内の公共施設の集約化等に係る方向性を検討する一環として、当面営業を継続しながら解決策を検討する。

消費トラブルに立ち向かう力

問　消費生活センター相談員確保のために、年齢枠を緩和してはどうか。

答　原則、65歳を超えての任用は行わないが、欠員が生じる場合は、例外的に再度任用できる仕組みとしている。

市民連合

学校の働き方改革推進を

問　時間外短縮や休暇取得の目標達成に向け、今後どう取り組んでいくのか。

答　働き方改革推進プランに基づき、部活動指導員の配置拡大、業務分担の見直し、学校閉庁日の拡大などに重点的に取り組む。

がん検診の受診率向上を

問　がん検診の受診率を高めるために、どう取り組むのか。

答　定期的ながん検診の受診を促すための啓発や未受診者への勧奨の強化、受診しやすい環境づくりなどに取り組む。

安佐医師会病院の準備状況

問　令和4年12月開院予定だが、準備状況はどうか。

答　令和3年3月から現在の安佐市民病院の改修等を進めており、安佐医師会では業務委託内容の検討等を進めている。

指定管理の雇用確保を！

問　雇用が守られるように指定管理制度として担保される必要があるがどうか。

答　指定管理料の追加措置などにより、指定管理者に対し従業者との適正な雇用関係を維持させるよう努める。

水道配水池周辺の支援強化を！

問　洋光台配水池※7レッドゾーンは法面が安全なのに指定されているのはなぜか。

答　県によるレッドゾーンの指定は、法面の維持管理の状況に関わらず、形状等により全国一律の考え方で行われるためである。

日本共産党

医療費補助中学生まで拡大を

問　中学生にも経済的理由で受診を控える子がいるが、どう考えるか。

答　引き続き、統一的な制度創設を国に要請しつつ、令和4年1月からの制度改正後の状況も踏まえ、さらに検討を進めていく。

障害者65歳問題の解消を

問　介護保険サービスへの移行による生活への影響は小さくすべきだがどうか。

答　基本的には個々の障害者の実態に応じて、障害者福祉サービスも補完しながら対応していく。

正規指導員の欠員を解消せよ

問　長年続く放課後児童クラブの指導員の欠員がなぜ解消できないのか。

答　クラス増設の結果、多くの指導員が必要となったことなどが原因である。引き続き採用試験を行い、欠員解消に努める。

備蓄生理用品を支援団体に

問　防災備蓄の生理用品を使用期限前に更新し、旧品を支援物資として提供しては。

答　使用期限を迎える前に更新し、必要とされている方に利用していただけるよう、関係課と協議しながら対応する。

川のしゅんせつで災害に強いまちを

問　市が管理する普通河川の土砂を計画的にしゅんせつすべきではないか。

答　順次、調査・点検を実施しており、その結果や市民からの通報等に基づき、しゅんせつを含めた維持補修により対応しているところである。

広島創生クラブ

不登校や引きこもり支援

問　フリースクール※8への財政的支援について、どう考えているか。

答　幅広い視点から検討に必要な情報を早急に収集し、関係部局とも連携を図りながら対応をしっかり考えていく。

用語解説

本文中に赤表記した用語を解説しています

1 採点システム
答案用紙をスキャニングし、パソコン上で採点を行うシステムのこと。

2 ライフサイクルコスト
製品の設計・開発から製造、販売、保守、修繕、廃棄にいたるまでに発生する全費用のこと。

3 浸水ハザードマップ
大雨が降った場合に浸水の発生が想定される区域と避難場所を明示したマップのこと。住んでいる場所などが、どの程度の雨で浸水するおそれがあるのかを把握してもらい、日頃から浸水に備えることで、浸水被害の軽減を図ることを目的として作成した。

4 ペデストリアンデッキ
安全・快適に歩けるよう、車道と歩道を分離した高架による歩行者専用歩道のこと。

5 伝承者
被爆体験伝承者のこと。被爆者の高齢化に伴い、被爆体験を話せる方が少なくなってきていることから、本市では、被爆体験証言者の被爆体験や平和への思いを受け継ぎ、それを伝えるため、平成24年度から養成している。

6 猶予特例債
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置に起因して多くの事業者等の収入が急減している状況を踏まえ、令和２年度、地方税等の徴収猶予の特例制度が新たに設けられた。

7 レッドゾーン
土砂災害防止法に基づき指定された土砂災害特別警戒区域のこと。特別警戒区域は、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制される。

8 フリースクール
日本では、不登校や引きこもりの子どもや大人が通う非学校的な施設の意味で使われる。学習権の保障や安心して過ごせる居場所を提供する施設、通信制高校での学習をサポートするサポート校など既存の学校とは異なる機関や施設がフリースクールと総称されている。

総括質疑（10/ 7）

分科会（10/13）

※紙面の都合上、掲載質問数の上限は、各会派の人数按分により決定しています。
※質疑の内容は、各会派からの提出によるものです。
※質疑・答弁の趣旨を簡潔にまとめているため、実際の発言とは言い回しが異なることがあります。